

令和 2 年度 豊橋市健康なまちづくり協議会健康づくり部会 議事録

日時	令和 2 年 8 月 20 日 13 : 00～14 : 30
場所	豊橋市こども発達センター 研修室
出席委員	8 人 (横井尚、高城周作、佐々木豊、辻村尚子、福岡吉彦、瀧川雅弘、中村三木也、伊藤訓子)
欠席委員	1 人 (藤城ひろみ)
事務局	豊橋市保健所 健康政策課
事務局	【事務局代表挨拶 撫井健康部長兼保健所長】 現在、保健所では新型コロナウイルス感染症の対応に奔走しております。本日は、新型コロナウイルス感染症について、説明をさせていただきます。 体制としまして、帰国者接触者相談センターを設置、帰国者接触者外来の開設を始めとした医療体制を整備し、また豊橋市医師会のご協力をいただきまして、検体採取機関としてPCR検査センターを設置、衛生検査所での検査数の増加など、検査体制の拡充を図っております。しかし、各地域と同様に、4 月中旬より徐々に新規患者数の増加がみられるようになってまいりました。令和2年1月 27 日から昨日までの患者数56人、8 月以降は少し患者数が増えており、毎日 2 名程度発生がみられています。新型コロナウイルス感染症対策につきましては、引き続き体制の整備、強化を実施してまいりたいと思いますので、ご協力をおねがいします。 本部会でございますが、市民の健康づくりと支援に関する事を協議する場とともに、総合的な健康づくり計画であります健康とよはし推進計画に関する現状、課題、方向性などを協議する場となっております。第二次の健康とよはし推進計画は 2022 年までの計画となっており、計画に基づき、さまざまな取り組みを実施してきましたが、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、今まで実施してきました健康づくりが当たり前のようにはできない状況となっております。本日は、市民の生活様式の変化を踏まえつつ、豊橋市としての健康課題に対する取り組みについて、委員の皆さまより忌憚のないご意見、ご助言をお願いします。
事務局(種井課長)	【委員の紹介】 【会長の選任】 部会長の山本委員が医師会の改選により辞任をされているため、豊橋市健康なまちづくり協議会健康づくり部会運営要領第4の4に基づき、部会長選任までの間は、副部会長の高城委員に進行をお願いします。
副部会長(高城)	部会長不在のため、議事進行を務めさせていただきます。 運営要領 第4 部会に部会長及び副部会長を各1名置くとあり、現在部会長不在の状態にありますので、部会長の選任をおこないます。「運営要領第4の2、部会長は、委員の互選により定める」とあります。どなたかご推薦はございますか。

委員(佐々木)	医師会の横井尚委員を推薦いたします
副部長(高城)	ありがとうございます。豊橋市医師会副会長の横井様が推薦されました。皆さま、いかがでしょうか。
各委員	(異議なし)
副部長(高城)	ご承認いただいたということで、横井様を当部会の部長にお願いしたいと思います。それでは、運営要領 第6の2の規定に基づき、会議の議長は、原則として部長 となりますので、ここからの議事につきましては、横井様にお願いしたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。
部長(横井)	ただいま、皆様からご承認いただきました、本年度から豊橋市医師会の副会長になりました横井と申します。よろしくお願いいたします。 それでは皆さまのご協力をいただきまして、部長を務めさせていただきたいと思います。 まずは、当部会の副部長についてですが、運営要領第4の3に基づき、副部長は、委員の中から部長が指名する と規定されていますので、副部長を指名させていただきます。 豊橋市歯科医師会副会長 高城周作委員に副会長をお願いしたいと思います。皆さまよろしいでしょうか。
各委員	(異議なし)
部長(横井)	ありがとうございます。それでは、高城委員に副会長をお願いします。 それでは、議題に入りたいと思います。本日は2つの議題があります。(1)健康とよはし推進計画(第2次)の各項目の進捗状況について (2)新型コロナウイルス感染症による健康とよはし推進計画取り組み事業への影響について、事務局より説明をお願いします。
事務局(荒島)	【議題(1)健康とよはし推進計画(第2次)の各項目の進捗状況について 説明】
事務局(井川)	【議題(2)新型コロナウイルス感染症による健康とよはし推進計画取り組み事業への影響について 説明】
部長(横井)	これらの説明について、何か質問はありますか？
委員(佐々木)	健康マイレージのアプリを使用しているが、何もしていなくてもランキングが真ん

	中ぐらいいにくる。歩いてなくても、朝起きた時点で開けると 722 人中 126 位とか、何もしなくてもランキングが真ん中くらいなのは、どういうことでしょうか。
事務局(種井課長)	0の方が多いのかなと思います。
委員(佐々木)	携帯のアプリの歩数だと励みになるが、PCに入れられているアプリもカウントされているのでしょうか。
事務局(種井課長)	PC のカウントは反映されていません。
部会長(横井)	その他いかがでしょうか。 新型コロナウイルス感染の蔓延により、市民の皆さんの生活様式がかなり変化をし、外出控えをして、病院でいうと診療控え、ホームワークになりますので運動不足になったり、家庭にお子さんというということで、生活様式がかなり変わります。先ほどの喫煙などがあるとお子さんへ影響するなどそれぞれの課題があります。何か皆様のお立場から、現状の課題、取り組みがありましたら、お話ししていただけたらと思います。
委員(佐々木)	愛知県薬剤師会で会員の 1188 名の薬局へ 5 月にアンケートを送りました。3 月、4 月で前年比、患者数の増減、処方箋枚数の増減についてのアンケートを愛知県薬剤師会の方で取りまとめました。保険薬局 97%の回答でしたが、その中で 20%以上の売り上げが落ちたが 25%、10~20%減少したが 25%、さらに 10%減少が 24%。約 75%が何らかの形で売り上げが減少し、さらに処方箋枚数に関しても、同じく 10%減が 23%、10~20%が 31%、21%以上が 30%で、約 85%の処方箋枚数が減った。病院への受診抑制が一般の方たちにあったのかと推測しております。実際、私の薬局でも、「コロナが怖くて病院へ行っていない。」という声を聞きます。また、電話診察もしくはオンラインで処方箋だけの発行を医療機関からしていただいて、お薬を患者さんにあげる形をとっている患者さんが何名かいます。 患者さんによっては、待ち時間が 1 時間 2 時間待つことで、そこでの感染が怖いということで行かれなくて、基礎疾患を持っているような糖尿病にしても、心臓の循環器にしても、症状の悪化を懸念するのですが、患者にはちゃんと行ってくださいと、我々は一生懸命言ってはいても、やはり患者さんは「怖いので行きたくない。」とよく聞かれます。医師会の先生方の現状では、いまどういう認識なのかお聞きしたいです。
部会長(横井)	現状としては、受診を勧めるわけにはいかないのが、オンラインの診療を国は勧めるところですが、現状としては浸透しているわけではない。例えばオンラインが可能なのは離島とか遠い所の方が利用できる、ないしは都市部の密集した状況で利

委員(佐々木)	用できるかと。豊橋という地域性から考えると、オンラインに関してはまだ厳しい。今後の可能性はかなりないかと思います。最近は、お子さんの受診控えはかなり大きくて、疾病の流行と関係してくると思いますが小児科では50%以上減少しています。安全に受診できるような方策を各診療所で考えていますので、患者さんにアピールして、安心して受診できるとお伝えしていきたい。 時間で分けている先生方、病院もある。クリアに分けていただいている関係で患者さんがだんだん戻ってきて、2ヶ月3ヶ月ぶりの患者もいる。徐々にもどっていると感じております。ただ、小児科、耳鼻科、歯科は大変な状況だと聞いております。必要があるのに受診していない現状がでております。 患者さんの聞き取りで、コロナ太りということで最近2キロくらい体重が増えているという声をよく聞きます。やはり外に出られない、歩くことができない、歩いてマスクをすると大変だし、マスクを外すと冷たい目で周りから見られるので、マスクをして歩くことが非常にきついで運動していない、フィットネスクラブで何回も休みがあったり、今でもソーシャルディスタンスを守ってやられていると思いますけど、数としては少ないのかなと感じている。
委員(高城)	皆様のお話を聞いたり、県の統計をみても、歯科のほうでも1~2割の患者の減少がある。歯科の場合は、定期検診で歯の掃除をしましょう。と定期検診に何か月に1回ずつ来ていただいています。定期健診だからいいか。というところで、受診控えするのは定期健診の予定の方がこられないというのが一番多い。歯の痛みとか歯がないなどについては我慢してられないのでみなさんいらっしゃるが、定期検診は「健康だからいいかと」受診控えされる方がみられる。また、先日、WHOが歯科は危ないから受診は控えるように言われているが、日本歯科医師会、県の歯科医師会、豊橋の歯科医師会でも、どういう形でやれば感染予防ができるか、様々な方法で感染予防しながら診療している。受診控えというより、歯科に行きたいけどどうしようかな？と考えている方に対しては、まずかかりつけの医師に相談してみしてほしいと周知していただけるとありがたいです。
委員(辻村)	提示していただいた資料を見ると運動習慣と肥満者の割合は目標値からのかい離が大きくなっていると感じます。現実的に運動習慣を増やすのはなかなか難しく、コロナ禍において一人で運動することは、もっと難しいことです。このまま運動習慣のない人が増加すると肥満者も増えていくという悪循環になります。 その中で昨年からAIを利用して勧奨する、勧めるようなお話がありましたので、状況をお伺いしたい。ポピュレーションアプローチができない現況において、マンパワーがコロナ対策にさかれている今難しいとは思いますが、個別に指導していくことは可能でしょうか？

委員(加藤課長)	AIは未受診者勧奨で活用しています。過去の受診行動、問診項目、その方の特性をAIで解析をして、行動変容を起こせる勧奨内容を選んでお送りしました。 運動指導が必要な方への指導については、特定健康診査後に特定保健指導を実施しています。豊橋市の場合は豊橋市国民健康保険の方です。集団指導の運動に関しては、同じスペースの中で運動することが難しく中止しましたが、今は間隔をとるなど感染防止対策をして実施を考えています。 個別の支援は、生活に取り入れて運動をしていただける方法を一緒に考えて進めていき、次年度の結果につなげていこうという取り組みをしています。
委員(辻村)	既存の健康マイレージなど自分で確認していくことができるものを利用し、変化がみえると嬉しい気持ちになりいいかと思いました。
部会長(横井)	先程の事務局の話で子ども健康についてもありましたが、現状の課題やご意見があればお願いします。
委員(中村)	学校の方として、健康に関する出前講座が普及してきて、学校保健委員会の中に入っていて、たばこ、朝食、専門的な立場からお話していただいて非常に役に立っている。毎年のように位置付けてお願いしているところもある。また、これが今後いろんな所に広まっていくと子ども達の健康教育にとっても有効な方法だと思いますので、これも充実させていただきたい。 資料2の22ページ、肥満傾向にある児童の割合で、実際、以前より太っている子が減っているように思っ、実際に男子の方が肥満傾向のポイントが相対的には下り傾向、29年度にシステム変更で健康診断の後の処理が変わって、成長曲線をもとに肥満傾向の指導するようになった。ここからは全学年の平均になっていると思いますが、男子は29から見ると少し上昇している、女子は29から見ると減っている。ただシステム変更がどれだけ平均値に影響があるか、前と直接は比較できませんが比較的肥満傾向は減ってきていると感じている。成長曲線を健康診断の結果にだして、異常がある、急激な変化があった子については、学校医に直接聞いて、保護者あてに受診を求めたり、文書をだして、個別に対応しているとらえています。肥満の傾向については、学校では出前講座などの全体に扱いにくい。からかいや、いじめの対象になりやすい。あくまで個別に健康相談や健康診断を通して対応している。心配しているのは、コロナの影響で、運動の機会が減ってしまったり、運動にも制約が加わってしまっている。従来、各学校では運動量を増やそうと、体育の時間でも運動量を増やしたり、長い放課で外遊びを奨励したり、積極的に行っているが、この1年であまり時間が取れず、来年度の値については心配している。ただ学校としても、子ども達にそのような意識を育てていくことは、保健指導の中でも重要視していますので、コロナの影響で1,2年は望ましい数値が得られないかもしれないが、そのような気持ちで実施していくことは保健所とも連携してい

委員(横井)	る。今後、子ども達に早いうちから健康に対する意識を育てていく。併せて小さいお子さんを持つ保護者の方にも同じように取り組んでいってもらいたいことは、力を入れてやっていかないといけないし、やっていくことになると思っています。 今回、コロナのことも含めまして、商工会議所の瀧川委員にお伺いしたいことは、仕事の自粛や活動の自粛、かなり制約がある中で、健康づくりなど、何か今後の取り組みについてご意見お願いします。
委員(瀧川)	今の各企業の状況ですが、コロナ対策は、大きな企業ほど非常に厳しく、例えば出張はダメという形になっており、生産系の工場でも基本的には打ち合わせは、工場内でやらない、来てもらわない、ほぼWEB会議でやっている。コロナに対しては敏感な企業が多い。中小の飲食店には、コロナの対策してくださいとお願いしていますが、どこまで浸透しているか疑問が少しあります。 地域職域連携推進事業の中で、今年度から豊橋健幸宣言事業所をやっていたいてまして、今 130 事業所という形ですが、事業所単位で、健康が働き方についても効率をよくすることだと、社長や幹部の方によく理解していただければ会社自体全体でできるようになりますので、非常に良い取り組みになると思います。ただ、なかなかそれが浸透していないので、数値的に、これだけのことをやると会社にとってもこれだけのメリットがあるという説明ができるようなモデルを作っていただいて、各経営者の方に説明していくというのも一つのやり方としてあるのではないかな。こういう取り組みをこれだけの期間やると「こころのケアもこれだけよくなりました」とか「肥満もよくなった」などモデルで示して、社長さんたちにプッシュするのも必要ではないか。数値的にいうと皆さん理解していただけるので、そういう取り組みを是非お願いしたい。
委員(横井)	社会福祉協議会の福岡委員にお聞きしたいのですが、介護の状況のことも含めまして、現状と取り組みについてご意見ございますか。
委員(福岡)	資料4-3で課題を分析していただいて、肥満、運動習慣、この後積み上げが要介護認定に影響してきて、フレイルの問題、要介護状態、認知症にもなるという要因に全てかぶっているの、つなぎ目も含めて考えていかないと思っています。 統計的なものではありませんが、デイサービスで4月からの利用者の状況ですが、要介護状態の方はほとんど利用をやめることはしない。要支援の方に、家に観る人がいるという条件だと、利用を控えるという動きがありました。トータルでいくと大きく利用を控えるのは、やむにやまれぬという状況を含めてなのかなと思っています。ボランティアだとか市民活動による地域の介護活動は、圧倒的に控えるという前提で4月から進んでいったので、その間は参加される高齢者もそれを支えるボランティアも意見が一致して控えるということになっています。自立している地域で

	動いている方々、軽い方からだんだんに利用を控えており、重い方々は利用を控えることができなくて、という階層化があるように感じています。そうすると、一番フレイルのところが心配で、7月からボランティアと一緒にやっというっているが、最終的にやれという立場ではない。いくつかのサロン、校区市民館等でのサロンの活動再開を選択しないところもある。一斉にという動きは取りづらいという現状。大丈夫だということが広がれば、情報を共有して、みんなでやっというという広がりを作れるのかと思っています。地域包括支援センターのモニタリングについて、月1回の3センターの会議で話したところ、要支援の方々と大きく見た感じで状態は変わっていないと、6月7月くらいは言っている。しかし、これが長期化したら変わってくるかもしれないと考えている。オンラインといったことが難しい方々を対象にしているということで、ここに出ている課題を市民活動の部分でどう工夫をしていくか、答えが出せずに考えている。
部会長(横井)	ありがとうございました。いろいろなご意見を今後に活かしていただきたいと思います。 次第3報告になります。事務局からお願いします。
事務局(井川)	【資料5 健康とよはし推進計画のスケジュールについて説明】
部会長(横井) 各委員	このことについて、質問やご意見はありますか。 (なし)
部会長(横井)	最後に、次第4その他について、になりますが、事務局で何かありますか。これで、本日の案件に対しては終了いたします。 全体を通して何か発言がございましたら、お願いします。
委員(佐々木)	この場をお借りして情報提供させていただきます。ポピドンヨードのうがい薬について、大阪の吉村知事の発言で各薬局、医療関係で品切れで、皆様にご迷惑をおかけしていますが、8月8日に日本甲状腺学会、日本内分泌学会、日本内分泌外科学会共同でのこの経過についてホームページ上にでています。新型コロナウイルス感染にヨウ素を含まれるうがい薬が有効であるかについては、現時点では、科学的に評価できる論文が発表されておらず、効果は明らかになっておりません。という学会からの見解が出ておりますので、市民からの問い合わせがあった時には、十分注意していただきたいと、先生方もご存じのとおり甲状腺機能の異常をきたす問題、妊婦・授乳婦には使えない、場合には口が荒れてしまう、という現状を踏まえて、5、6日使っても症状が改善しないときは使わないでくださいと学会からの見解がでています。ぜひ一度、見ておいていただきたいと思います。情報提供としてお知らせします。

委員(横井)	ありがとうございました。他に何かありますか。これをもちまして終わらせていただきます。事務局の方へお返しします。
事務局	【事務局代表挨拶 撫井健康部長兼保健所長】 本日は貴重なご意見いただきまして、ありがとうございました。新型コロナウイルスに関しましては皆様方のご苦勞をいただき、情報共有を図っていて皆様のご意見をいただきたいと感じたところでございます。今後ともご意見を頂戴したいと思っております。よろしくお願いいたします。 今後も皆様方のご協力をいただきながら、市も一体となって、健康とまちづくりを進めていきたいと思っております。今後ともご指導いただきますようお願いいたします。
事務局(種井課長)	豊橋市健幸なまちづくり協議会健康づくり部会を閉会します。